



玖波中だより

No. 1 6



大竹市立玖波中学校 令和7年2月7日

学校教育目標 「『なりたい自分』に向かって、挑戦する生徒の育成」

発行責任者 小田 大介 文責 藤川 健二

2年修学旅行無事終わる ～ You were shiny ～

2年生にとっては今年度の最大の行事とも言える修学旅行に、1月21日(火)～23日(木)の二泊三日で関西方面に行ってきました。

初日は京都市内班別自主研修、2日目は新世界商店街での商人体験、3日目はUSJでの自由行動でした。生徒の活動の様子から今回のスローガン『SHINE!』にふさわしい修学旅行になりました。大切なのは『Are you shiny now?』の問いに『Yes』と応えられることです。また結団式で団長の話の中に『楽しむ』という言葉がありました。自由奔放な楽しさではなく、規律の中で楽しさを見つけることができていると思います。

この旅行に心よく、送り出してくれた家族への『感謝』を忘れることなく、日々の生活を送ってくれることを願っています。

今回の修学旅行の商人体験でご協力いただいた、(有)大井水産、(有)なか川、(有)モーコ製パン工場、おたけ手すき和紙の里 様をはじめとする修学旅行にご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



私が感じたことは人の温かさです。1日目では班別自主研修があり、知らない土地で道に迷ってしまった時に近くのお店の人に道を聞いたり、見学先の写真撮影をお願いしたりした時に、どの方も心優しく対応してくださいました。その後の旅館でも温かく私たちを迎えていただき、とても嬉しかったです。2日目では商人体験で商店街の方々や大阪の道行く人たちは修学旅行生だと伝えると、とても親しく接してくださいました。ホテルでもご飯や焚き火など、たくさんものを用意して迎えてくださって驚きました。3日目は USJ でクルーの仲間がフレンドリーに関わってくれて嬉しかったです。添乗員さんが常に生徒のことを考えてくださったり、運転手さんが安全に送迎をしてくださったりして、とても周りの人に恵まれた旅行でした。嬉しかったです。

僕はたくさん学ぶことができました。協力をする事の大切さ、学ぶ時は学び楽しむ時は楽しむということ、そしてたくさんチャレンジすることの大切さなど、様々なことを学びました。商人体験など、一致団結してなにかをすることがたくさんありました。それをする上で、みんなの仲を深めることがしっかりできたと思います。これからまだまだ、たくさんの行事があると思います。それをする上で、今回の経験を活かし成し遂げていきたいです。

班別自主研修では、金閣寺に行くまでに迷ってしまった時、近くの人が教えてくださり、何も間違えずに到着することができました。先生と合流し、次の場所に行こうとしたけれど、あまり時間がないことに気づき、予定を変更しました。これからは事前の確認を注意深くやっていきたいと思いました。商人体験では、大きな声を出すことやチラシを配ることなど、やるべきことがたくさんあったけれど、頑張れてよかったです。チラシが風で飛んでしまった時に色々な人が拾ってくれたり、同じ方が何度も買ってくださったりして、大阪の人の温かさを感じました。みんな頑張ったのでよかったです。3日目は USJ でアトラクションに乗ったり、お土産を見たりすることがとても楽しくていい思い出になりました。3日間を通して、人の温かさや計画性の大切さ、協力することなど色々なことを改めて感じるすることができました。学んだことをこれからの生活に活かしていけるよう頑張っていきたいです。

修学旅行の裏で

修学旅行と同時期に3年生は三菱ケミカル様をお招きし2回目の自己表現活動、1年生は地域学習でグループに分かれ、中国塗料(株)、くば漁業協同組合、玖波公民館、称名寺 様を訪問しました。

3年：自己表現の様子



学習プランから

- 前回よりも緊張せず、終わることができました。入試が迫っているので練習したいです。
- 具体的なアドバイスを頂いたので、しっかり改善したいです。
- 様々な視点でのアドバイスがありました。しっかり修正したいです。
- とても緊張したけど上手くでき褒められて嬉しかったです。自信をつけることができました。

1年：地域訪問の様子



お礼状から

玖波について知っているのはほんの一部だと実感しました。お寺の歴史や残っている物などこんなにも歴史をさかのぼるとは、さすがにびっくりしました。そして、玖波は今と違い、町全体、あらゆる面が変わったとおっしゃっていたので、一度昔の玖波にタイムスリップしてみたいと思いました。お話にあった、お勧めの場所にも、近いうちに行ってみて、卯建や厨子二階を確かめたり、新たな発見をしてみたいと思いました。